



全員の教室でみんなの顔が新鮮に見えるのではないのでしょうか。新しい学校の過ごし方にとまどっている人はいませんか？しんどくなったら先生に話を聞いてもらいましょう。今月は身体測定の月です。入学、進級してから、成長している人もいます。自分の体を見直してみましよう。

新型コロナウイルス感染症に

かからない・うつさないために

*毎日、朝と夜の検温・健康観察を忘れずに行いましょう。

「健康観察カード」に記入し、毎日学校へ持ってきてください。
(忘れてしまった人は体育館で検温・健康観察を行います。)

*発熱等のかぜ症状がみられる場合には無理に登校しません。学校で体調が悪く

なったときは、すぐに先生に話しましょう。

*外出するときや、学校ではマスクを着用してください。

※ただし、体育の授業ではマスクの着用は必要ありません。

*ハンドソープでていねいな手洗いを、こまめにしましょう。清潔なハンカチ・ハンドタオルを、いつも使えるように身につけましょう。



手を洗うモン



換気をするモン



くっつかないモン

熱中症に注意しましょう

新型コロナウイルスの予防をしましょう。
一人ひとりが感染防止の3つの基本です。

①身体的距離の確保、②マスクの着用、③手洗いや「3密（密集、密接、密閉）」などといった新しい生活様式を実践することが求められています。

このように、今年の夏は、これまでとは異なる生活環境になると思います。
十分な感染症予防を行いながら、熱中症予防を心掛けるようにしましょう。

例年より水分補給を多めに

マスクを着用していると、マスク内の湿度が上がることにより、のどの渇きに気づきにくくなります。

のどの渇きを感じにくいことに加え、顔を中心に熱がこもりやすくなります。

そのため、例年以上にこまめな水分補給を意識することが大切です。その他、日頃からの健康観察、暑さに備えた体作りなども大切です。

保護者の方へ

毎日の生活がんびり表、健康観察票等、毎日の生活を見ていただきありがとうございます。気温も高くなっている中でマスクの着用で体温がこもり熱中症の疑いの恐れがあります。睡眠時間を確保して、ゆっくり休ませてあげてください。またマスクの忘れが気になっております。ランドセルにハンカチと同じようにマスクの予備を入れてください。よろしくお願いいたします。

水筒について

梅雨時期は、衛生面がしっかりしていないと食中毒の原因になります。

みなさんの持ってきている水筒のなかはなんでしょうか。おうちのひとにお茶をわかつて冷やしてもらったものを水筒に入れて持ってきてください。氷や氷出しパックのお茶はこのましくありません。

1年生のみなさんへ

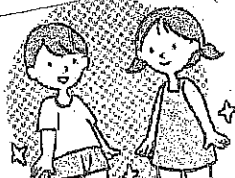
6月17日(水)
視力検査を保健室で行います。

1年1組 1時間目
1年2組 2時間目
1年3組 3時間目

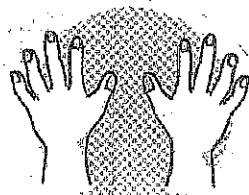




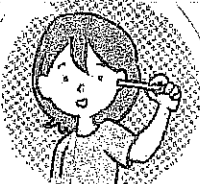
ハンカチ・ティッシュは
持っていますか？



きれいなはだ着を
つけていますか？



手と足のつめは
のびていませんか？



ときどき耳そうじを
していますか？



前がみは目に
かかっていませんか？

身だしなみ

せいけつせつ？

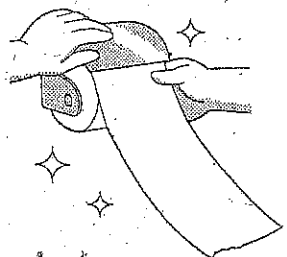
トイレットペーパーの上手な使い方

トイレットペーパーは、勢いよくガラガラと回してたくさん使い過ぎることのないように、必要な長さだけを引き出してから切り取って、折りたたんで使います。

トイレの周りをよごしてしまった場合にも、トイレットペーパーで拭き取り、使い終わった切り口も整えて、きれいにしておきます。

トイレはみんなが使うものなので、次の人がいつも気持ちよく使えるように心がけましょう。

③つのステップでトイレをいつも心地よく



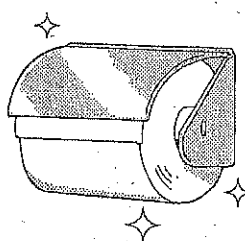
①切り取る

一席に使うのに必要な長さだけを
引き出し、カバーを片手でおさえ
て、もう片方の手で切り取ります。



②たたむ

切り取ったら、折りたたんで使
います。

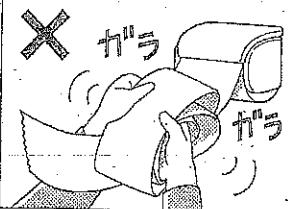


③整える

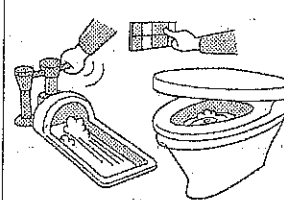
使い終わって、切り口が乱れてい
る場合は、きれいに整えます。

家でもトイレの使い方をチェックしましょう

☐ トイレットペーパーを使い
過ぎていませんか



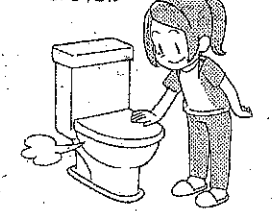
☐ 使い終わった後にはきち
んと水を流していますか



☐ 汚した場合はきれいに拭
きましたか



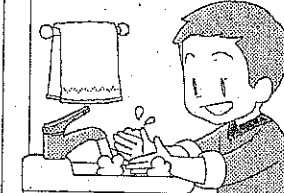
☐ 洋式の場合はふたを閉め
ましたか



☐ 使ったスリッパをそろえ
ましたか



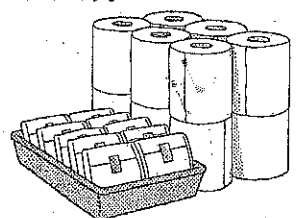
☐ 手を洗ってタオルなどで
ふきましたか



おうちの片へ 近年は、使用後に自動で水が流れたりふたが閉まったりするトイレもありますが、それに慣れてしまうと、手で水を流したり閉めたりすることを忘れてしまうこともあるようです。どんな場所でも次の人が気持ちよく使えるように、家庭でトイレの使い方をもう一度チェックしておきましょう。

災害に備えて

阪神・淡路大震災や東日本大震災では、トイレットペーパー不足が大きな問題になりました。家庭でも一人1か月分の4ロールを目安に、人数分のトイレットペーパーを確保しておくようにしましょう。ナプキンなどの衛生用品も予備を用意しておくとう安心です。



「多目的トイレ」だれでもトイレって？

多目的トイレは、体に障がいのある人や小さな子ども連れの人なども気がねなく利用できるように工夫されたトイレです。車いすにすわったまま出入りできるよう、広いスペースに手すりがつき、オストメイト（人工肛門をつけている人）に対応した流し台や、子どものおむつ交換台などが備えられています。

また、男女別のトイレに入りにくい人（性別違和感のある人）のために、性別を問わずに利用できるトイレ（「だれでもトイレ」など）の表示をする施設も増えてきています。

対応する設備である表示の例

